

2020年1月発行

茨木御堂 第269号



真宗大谷派



茨木別院

(輪番 高木 文善)

〒567-0817 茨木市別院町3-31
TEL (072) 622-2903
FAX (072) 625-9445

人も草木も虫も同じものは一つもない
おなじでなくてみな光る

自然界のすべての生あるものは、精いっぱいその「いのち」を生きています。それぞれの「いのち」を生きています。生きているそのことが光るのです。尊さはそこにあるのでしょうか。

先日、ある女性が亡くなりました。抗ガン剤投与の治療で一年三ヶ月の間、病魔と向き合いつづけてきました。ついにその生涯を全うしたのです。

病室で、また自宅のベッドで横たわる毎日でしたが、ときおり腕をあげて五本の指を一本ずつ折るしぐさをしていました。「何してるの?」と聞くと、俳句を作っているのだと言います。退屈しのぎもあるのでしょうか、頭がボケないようにとも言っていました。ほとんど毎日、多くの時間は一人ぼっちの闘病生活でありましたので、できた作品をタイムリリーに書きとめてあげる人もなく、多くの作品がボツになつていたにちがいありません。そのうち六首ばかりが残っていました。

窓の外 つばめがつつく 何の用?

すずめきた 仲間よび寄せ えさつつく

草ガメだ 冬眠覚めて 動き出す

等々。俳句には全く素人の私が見ても、決していい俳句だとは思いません。

しかし、この句を目にしたある人がこう言ってくれました。「この方は長い間(五十有余年)、子

どもの保育に生涯をかけてこられました。闘病生活に入られてからは、かわいい子どもたちと接することができませんでしたが、この方は本当に子どもを愛し、慈しみを惜しまなかった方でした。おそらく心の中に満ち溢れている愛と慈しみが鳥や小動物に向けられたのに違いありません。本当にみんなから慕われたかたでした。」と。

この言葉を聞いて、私は亡くなった女性に心からの尊敬と信頼を寄せるのです。今までずつとそばにいたのに全く受け止め、感じ取ることができませんでした。

これは言うなら、仏さまの愛と慈悲の心だと思えます。人間の愛と慈しみを仏さまのそれ(阿弥陀仏の慈悲)と同じように受け止めるのは次元の違う話であるとは思いますが。しかし、私が感じ取ったその女性への尊敬と信頼は、間違いなく私の中に生じたものです。そうであれば聞法を尽くして私の中に信心をいただく(生起する)のも、構造的には同じものだと思えるのです。愚かさ目覚める(南無帰命)ことで信心をいただくのですが、長い生活の中で、その女性に対して、その尊さや信頼を感じ取れてこなかったこの身の愚かさに深く首を垂れると共に、「おなじでなくてみな光る」に出会わせていただいたことに無上の喜びをかみしめているのです。

南無阿弥陀仏(輪番)

茨木別院関連ホームページ

茨木別院 ➔ ibarakibetsuin.or.jp

いばらき大谷学園 ➔ ibarakibetsuin.or.jp/kids/

真宗教団連合ホームページ

<http://www.shin.gr.jp/>

真宗教団連合

検索

茨木別院 行事ご案内

1月

●修正会(しゅしょうえ)

日時 元日(水) 除夜の鐘に引き続き
会場 別院本堂 午前0時半頃より

●本山九日講初講・九日講総会

日時 9日(木) 午前10時より
講師 真宗大谷派参務
会所 別院本堂

※初講に引き続き総会を行います。

●親鸞聖人ご命日・

婦人会報恩講と新年の集い

日時 28日(火) 午前10時より
会場 別院会館
講師 茨木別院輪番
※法話後、新年会(おとし接待)

2月

●教如上人ご命日・同朋会(どうぼうかい)

日時 5日(水) 午後1時半より
会場 別院会館
講師 加藤 恵氏

●みほとけの歌の会

日時 10日(月) 午後1時半より
会場 別院会館

●親鸞聖人ご命日・婦人会例会

日時 28日(金) 午後1時半より
会場 別院会館
講師 茨木別院輪番



* 月忌参りお休みのお知らせ *

1月1日から1月5日までの月忌参りは、お休みさせていただきます。

本山九日講初講 九日講総会のご案内

一月の九日講は茨木別院を会所に参務をお迎えし勤まります。

初講に引き続き総会を開催しますので是非ご参加下さい。

日時 一月九日(木) 午前10時より

場所 茨木別院本堂

講師 真宗大谷派参務

婦人会報恩講と新年の集い

左記の通り婦人会報恩講を勤めます。
報恩講のお勤め後、輪番よりご法話があります。

報恩講に引き続き新年の集い(お斎接待)を開催します。有縁の方々のお参りをお待ちしております。

日時 一月二十八日(火) 午前10時より

場所 茨木別院会館

講師 茨木別院輪番

●お斎の接待を行ないますので参加御希望の方は、別院事務所までご連絡ください。

☎〇七二一六二二二九〇三



あけまして おめでとうございます

お正月はいかがお過ごしでしたでしょうか。日本の伝統がたくさんある“お正月”は子どもたちにとってそれらの事を経験する本当に良い機会であったのではないかと思います。園はいよいよ3学期となり、それぞれの年齢の総仕上げの時期となります。子どもたちの成長を見守りながら、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。



- 10日 始業式
新入園児1日入園
- 14日 個人懇談(～17日)
- 20日 誕生会(1・2月)



- 3日 豆まき
- 21日 おゆうぎ会
- 29日 1号児自由登園日



冬の嘔吐下痢症にご注意を！

冬になるとウィルスが原因の嘔吐下痢症が急増します。代表的なものにノロウィルスがあります。ノロウィルスは低温乾燥に強く、少ないウィルスの数で発症するためです。対策としては、手洗い、うがいが最も大切で、残念ながらアルコールはノロウィルスにはあまり効果がありません。まずは、手を入念に洗い、うがいをしっかりして、ウィルスを体内に入れないようにしましょう。

手洗いとうがいを！



園庭開放とあそぼう会のお知らせ

いばらき大谷学園では未就園のお子さんを対象に、園庭開放やあそぼう会、誕生会を実施しています。子育てに関する相談も受け付けています。大阪府子育て支援員(スマイルサポーター)の資格を持った保育士が対応いたします。

☆園庭開放☆ 10:00～11:00 予約不要 ※雨天や感染症発生時は中止

1月…16日(木)・27日(月)・30日(木)

2月…10日(月)・13日(木)・17日(月)・27日(木)

☆あそぼう会☆ 10:00～11:00 要予約 定員:0, 1, 2才それぞれ2名

1月23日(木)・2月20日(木)

☆誕生会☆ 10:00～11:00 要予約 定員:8組

1月20日(月) 1・2月合同





園長の一言

●「意」の保育

今から三十年も前のことになりましたが、幼児教育・保育の研究者であります樋口正春先生のドイツ幼児教育研修旅行に参加する機会に恵まれました。十日間の日程でドイツ国内の幼児教育施設をいくつか訪問して、木で作られたオモチャをふんだんに取り入れた施設や、大自然の中で遊びと保育されている施設なども訪問してきました。その中でシュタイナー教育を根幹とした自然および自然物を取り込んだ幼稚園に訪問した時のことです。ここで学んだことが、その後の私の保育観や保育人生を決定づけたことに出会いました。このシュタイナー教育で最も大切にしているのは、戦前まで日本の教育の根幹となっていました、知・情・意の「意」にあたる部分です。

知情意について少し解説しますと、

「知」とは「知性」のことで、知識や思考といった、物を活用すること頭を使うことです。

「情」とは「感情」のことで、喜びや悲しみや怒りなどのこと。心で感じるということです。

「意」とは「意志」のことで、意欲や精神力のこと。決断するということです。

日本の教育は長い間この「知・情・意」を教育の根幹において、この三つの要素がバランスよく習得されて、人間というものを完成していくことが望まれ、日本の教育が進められてきたのです。戦後欧米の教育思想や教育方法が全面的に取り込まれて「知・情・意」の教育は消え去ってしまいました。

シュタイナー教育はこの「意」を最も大切なものとして幼稚園の教

育の理念に置いていたのです。シュタイナー幼稚園で学んだことは、子どもたちがこれから長い人生を生きていくのに、今の時期に「意」を徹底的に身に付けておいてあげるのが幼稚園の使命であるということも学ばせていただきました。その理念に深く共感させられて、私がやっていくこれからの保育は正にこのことではないといけないとまで考えるようになりました。それをひっさげて日本に帰ってきたのであります。その後、すぐに実践できたわけでもありません。悶々とする何年間がありました。子どもの中にある「意」とは何か。子どもと戯れながらじつと子どもの「意」を見つめるといえるか、探し当てることに没頭していました。そして「意」の中身とは何か。そしてその「意」をどうして養うか(保育方法)をおおよそ探し当てることができた時点で、その保育のことを私自身「意の保育」(私が勝手に決めたことばです)と命名できるようになったのです。

今朝のニュースにこんなことが出ていました。「七日間の戦争」というアニメの原作者である 宗田 理 氏がおっしゃった言葉に「最近の子どもは消極的すぎる」と。これから長い人生を生きていかなければならない子どもたちが、こんなことではダメとでもおっしゃりたいのだと受け止めました。

私も子どもたちにはもっと積極的な生き方をしてほしいと思います。しかし、見誤ってはいけないのは、積極性というのは内面に育つものであります。うちの子は元気に育っているので大丈夫とおっしゃる方もあるでしょうが、元気だからと言って積極性があるとは言えません。その内面に育てなければならぬもの等々を含めて、先に申しました「意の保育」の中身について次号でお話したいと思っています。

園長(高木 文善)

茨木別院報恩講

十一月十四日から十六日に茨木別院報恩講のお勤めをしました。十四日には、園児参拝が行われ、今年もブットンくん

と一緒に参拝されていきました。十五日にはおぜんざいの接待やみほとけの歌の会による合唱の披露がありました。

たくさんの方が参詣され、にぎやかにお勤めをすることができました。



同朋会報恩講

同朋会では、毎月五日の教如上人の御命日を縁として同朋会の定例法話を行っています。十二月に開催された同朋会では、法話終了後より続いて、同朋会の報恩講のお勤めをしました。

次回の開催は、二月五日午後一時半からとなります。

今年もたくさんのご参加お待ちしております。



茨木別院年間行事予定表

修 正 会		7月	暁 天 講 座
1月	本山九日講初講 婦人会報恩講・新年の集い	8月	お盆墓法要 盂 蘭 盆 会
3月	春 季 彼 岸 会	9月	秋 季 彼 岸 会
5月	永 代 経 法 要	11月	報 恩 講
6月	本山九日講 茨木別院門徒会 合同研修旅行	12月	除 夜 の 鐘

令和二年 年回表

一周忌	令和元年 亡
三回忌	平成三十年 亡
七回忌	平成二十六年 亡
十三回忌	平成二十年 亡
十七回忌	平成十六年 亡
二十五回忌	平成八年 亡
三十三回忌	昭和六十三年 亡
五十回忌	昭和四十六年 亡
百回忌	大正十年 亡

年忌法要は、

なるべく二ヶ月前までに御来院
いただいて日時等ご相談下さい。

敬 弔

ご生前のご遺徳を偲び、謹んで哀悼の意を表します。(敬称略)

記

法名 釋求願
俗名 門井求
八十三歳

法名 釋嚴整
俗名 杉浦 整
六十五歳

法名 清華院釋尼照榮
俗名 林佐榮子
九十一歳

法名 釋発応
俗名 西野 和雄
九十四歳

法名 釋尼唯敏
俗名 木村 敏子
六十六歳

法名 釋光和
俗名 城前 久和
九十四歳

法名 釋尼一光
俗名 池上 イチ
九十三歳

編集後記

新年あけましておめでとうございます。別院のお正月は修正会から始まり、九日には本山九日講初講が勤まります。新しい年、仏法を聴聞して始めましょう。本年も何卒よろしくお願い致します。

岡崎 康祐

平成から令和へ、そして東京オリンピック。月日の経過が早く感じます。また、新たな年を迎え、聴聞の場に出遇わさせていただきます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

墨林 尚顕

昨年の除夜の鐘は地震の影響で中止でした。それでもいつも撞きはじめる時間が近づくとお寺に来られる方がいました。茨木別院での除夜の鐘撞きがこの地域での習慣になっていることを改めて実感しました。

今回は無事に鐘撞きを行えることとなりました、みなさんの参加お待ちしております。

竹内 明人

株式会社 花 廣

茨木市大手町二二一八
☎(〇七二)六二二二四〇二